

**研究機関名**：高知工科大学、岩手県立大学、高知医療センター（高知県医療情報通信技術連絡協議会）

**研究の概要・目標**：南海トラフで想定されている巨大地震などの広域大規模災害に備えて、平常時には医療機関からの電子カルテ、処方・調剤や患者本人からの服用履歴（おくすり情報BANK）などの医療情報を安全に広域に分散・共有し、大規模災害などが発生した非常時には動的に通信経路(将来的には、衛星や無線、モバイル網も含め)を再構成してアクセスできる仮想化サーバ上の医療情報の利用を可能にすることを目標としている。

**研究の成果**：おくすり情報などの必要な医療情報を被災地など制約のある環境でも確実に利用できるようにするため、**仮想化技術などを活用した地域間医療情報ネットワークシステムの実証実験環境を構築および評価。現在、参画している12医療機関の医療情報を岩手県立大学に設置した分散共有サーバにバックアップするシステムを構築し、各種実証実験を実施。**

